

3.5 インチ シリアル ATA ハードディスク用
FireWire 800/USB 3.0/eSATA 対応 外付けハードディスクケース

RebDrive FireWire 3.5

取扱説明書



- 製品を正しくお使いいただくため、使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

アミュレット株式会社 店頭営業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-5-12
TEL 03-5295-8418

ASM3SBU30SAKT0601

○安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

 危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷 *1 を負う可能性があることがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取扱をすると人が傷害 *2 を負う可能性または物的損害 *3 が発生する可能性があること」を示しています。

*1 : 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

*3 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例		△記号は製品の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
		⊘記号は製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		●記号は製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

警告

<p>水にぬらさないでください。 雨・雪・水がかかる場所では使用しないでください。また、機器の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 水ぬれ禁止
<p>修理や改造、または分解しないでください。 火災、感電、またはけがをすることがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。 また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理または交換は保証期間内であっても有料となります。</p>	 分解禁止
<p>異常時は電源プラグをコンセントから抜いてください。 煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落下させた場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になるおそれがあります。</p>	 ぬれ手禁止

注意

<p>機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 移動時にコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 電源プラグを抜く
---------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

⚠ 注意

<p>電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷み、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 強制
<p>不安定な場所へ置かないでください。 ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしないでください。 バランスが崩れて落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>湿気や埃の多い場所、油煙や湯気があたるような場所での使用はさけてください。 火災・感電の原因となることがあります。</p>	 禁止

○取扱説明書をお読みになるにあたって

- ・この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ・この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

○免責事項(保証内容については保証書をご参照ください。)

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・保証書に記載されている保証が全てであり、この保証の外は、明示・黙示の保証を含め、一切保証しません。
 - ・この説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。
 - ・接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。
 - ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。
-
- ・Apple、Macintosh、MacBook、Mac、Mac OS、FireWireなどはApple社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・その他本取扱説明書に記載されている会社名、製品名、技術・仕様名称等は、各社または特定団体の登録商標または商標です。

1	はじめに	6
1-1	製品の特長と対応する機器	6
1-2	パッケージ内容	6
2	各部名称および操作説明	7
3	本製品の使い方	7
3-1	ハードディスク/SSD の取り付け・交換	7
3-2	パソコンへの接続と取り外し	10
4	ディスクのフォーマット方法	11
4-1	Windows 7/Windows 8.1/Windows 10	11
	管理ツールの起動	11
	ディスクの初期設定	11
	ボリュームの設定	11
	パーティションのフォーマットとマウント	13
	新しいボリュームの確認	13
	ディスクの取り外し	13
4-2	Mac OS X 10.9 および 10.10	14
	パーティションの設定	14
	ディスクのフォーマットとマウント	15
	ディスクの取り外し	15
4-3	Mac OS X 10.11	16
	ディスクのフォーマットとマウント	16
	パーティションの分割	18
	ディスクの取り外し	18
5	技術仕様	19
6	保証とアフターサービス	19
6-1	保証について	19
6-2	テクニカルサポート連絡先	19
7	付録	20
7-1	よくある質問	20

1 はじめに

この度は RebDrive FireWire 3.5 をご購入いただきありがとうございます。

RebDrive FireWire 3.5(以下、「本製品」と表記します)は、3.5 インチシリアル ATA ハードディスクを装着することで、外付けドライブとして利用できるハードディスクケースです。

FireWire 800、USB 3.0、eSATA 用の接続ポートをそれぞれ搭載し、各種パソコンへ接続可能です。

1-1 製品の特長と対応する機器

製品特長:

- ・3.5 インチ シリアル ATA ハードディスクを装着することにより、外付けハードディスクとして利用できます。
- ・FireWire 800 (IEEE 1394b)/USB 3.0/eSATA の3つのインターフェースを装備。
- ・Windows および Mac OS に対応しています。

対応機器:

■ サポートするパソコン

FireWire/USB/eSATA ポートのいずれかを搭載した Windows パソコン

FireWire ポートまたは USB ポートを搭載した Mac

※パソコン側コネクタの形状によっては、別途接続ケーブルが必要になります。

■ サポートするオペレーティングシステム

Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Mac OS X 10.9 以降

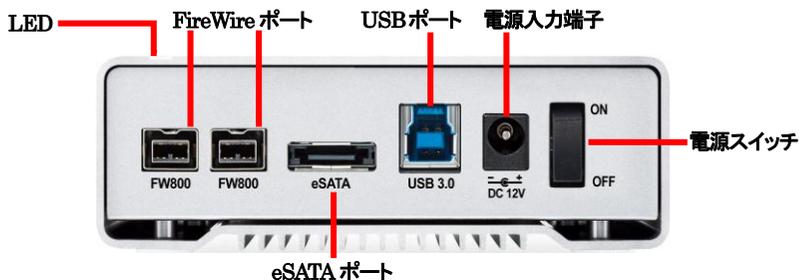
※Mac OS X では、eSATA ポートでの接続に対応しておりません。

1-2 パッケージ内容

- ・RebDrive FireWire 3.5 本体
- ・FireWire 800 ケーブル
- ・USB 3.0 ケーブル (Type A to Type B)
- ・eSATA ケーブル
- ・本体ケース用ネジ(小) × 4 ※2 本はケースに取り付け済
- ・HDD 固定用ネジ(大) × 4
- ・底面用ゴム足 × 4
- ・専用 AC アダプター
- ・取扱説明書(本書)
- ・保証書

2 各部名称および操作説明

<背面パネル>



3 本製品の使い方

3-1 ハードディスク/SSD の取り付け・交換

★作業を行う間は、本製品を各種機器から取り外し、電源が切れた状態で行ってください。

★作業を行う前に金属に触れるなど、人体に蓄積されている静電気を放電した後に行ってください。

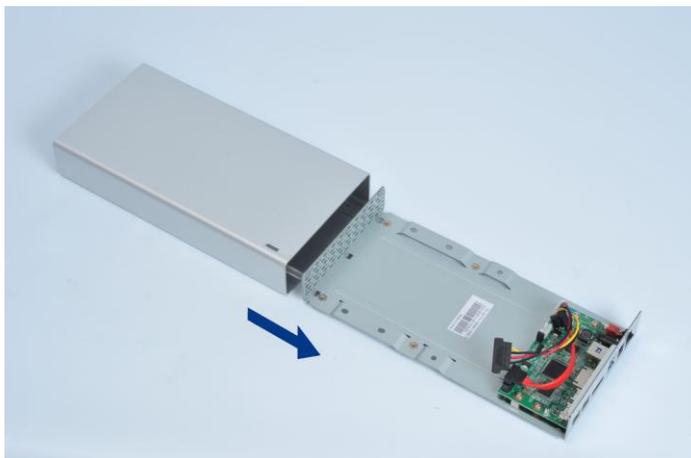
静電気により回路破損などが起こる恐れがあります。

★作業は細心の注意を払って行ってください。無理な力を加えたり、誤った方向に取り付けたりすると、容易に破損する恐れがあります。

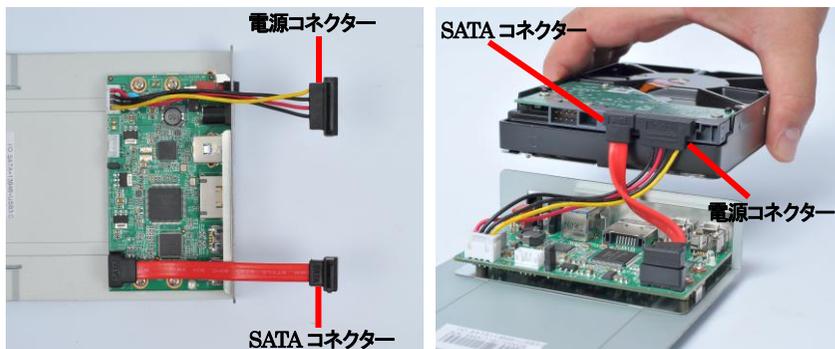
1. 本体ケースを固定している底面のネジ(小)を外します。出荷時は2本のネジで固定され、残り2本は付属品に含まれています。



2. 写真のようにスライドさせて、基板トレイを取り出します。



3. 基板トレイを安定した水平な場所に置き、ハードディスクを写真(右)のような位置でラベル面を下にして支えながら、電源コネクタおよび SATA コネクタを接続します。
2本のケーブルが交差する状態になります。

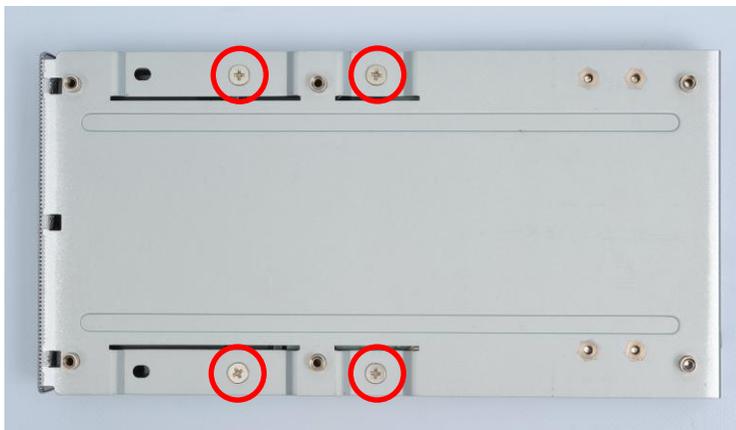


★ケーブル取り付け時は、ハードディスクを落とさないようにしっかりとつかんで作業を行ってください。

4. ケーブルを接続した後、ハードディスクを 180 度回転させて写真のように基板トレイに載せます。



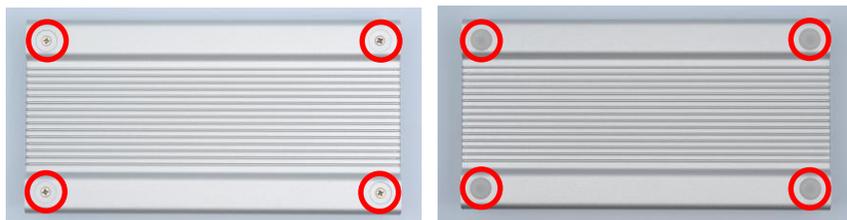
5. ハードディスクを落とさないよう支えながら、基板トレイを裏返し、4本のネジ(大)を使ってハードディスクを基板トレイに固定します。



6. 基板トレイとケースの向きに注意して、基板トレイをケースへ差し込みます。ケースの LED 用開口部と基板トレイの各ポート/スイッチがある側が同じ向きになるようにしてください。



7. 底面のネジ(小)4本でケースと基板を固定します。最後に、ネジを取り付けた4か所へゴム足を取り付けて、作業完了です。



3-2 パソコンへの接続と取り外し

1. パソコンの電源を入れます。
2. 本製品に付属の AC アダプタを接続します。
3. コネクタの向きに注意して、USB/FireWire/eSATA いずれかのケーブルを本製品に接続します。
4. 本製品に接続したケーブルを、パソコンの USB/FireWire/eSATA ポートへ接続し、本製品の電源スイッチを ON にします。パソコン側で自動的に、本製品が認識されます。
5. 接続されると、本製品上面の LED が青色に点灯します。ハードディスクがアクセス中のときは点滅します。

★パソコンへの接続は、いずれかひとつのインターフェースでのみ行ってください。

4 ディスクのフォーマット方法

新しいハードディスクまたは SSD を使用する場合には、事前にフォーマット(初期化)の作業が必要です。以降の内容を参照の上、適切にフォーマットを行ってください。

★ディスクのフォーマットを行うには、各 OS の管理者権限を持つユーザーとして、ログオンまたはログインする必要があります。

4-1 Windows 7/Windows 8.1/Windows 10

管理ツールの起動

お使いの Windows のバージョンにあわせて、それぞれ以下の手順で管理ツールを起動します。

Windows 7 および Windows 8.1 の場合:

スタートメニュー内の「コンピューター」を右クリックし、メニューから「管理(G)」を選択します。「コンピューターの管理」画面左側の枠内にある、「ディスクの管理」をクリックします。

Windows 10 の場合:

デスクトップ左下のスタートボタンを右クリックし、メニューから「ディスクの管理」をクリックします。

ディスクの初期設定

新しいディスクが見つかると、自動的に「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されます。

該当するディスク(下の画面では「ディスク 2」)をチェックし、パーティション スタイル(MBR または GPT)を選択してから「OK」をクリックします。

★「GPT」は、Windows XP 以前のバージョンの Windows と互換性のないパーティション スタイルとなりますのでご注意ください。

ボリュームの設定

1. ディスクの選択

「ディスクの管理」ウィンドウに、本製品に搭載されたディスクが「未割り当て」として表示されます。

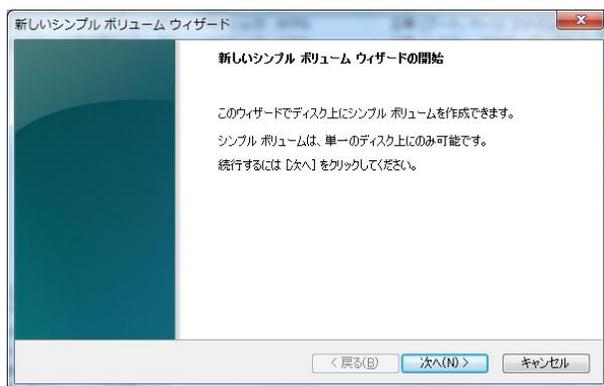


2. 「新しいシンプル ボリューム ウィザード」の起動

未割り当ての領域を右クリックし、「新しいシンプル ボリューム」をクリックします。



ウィザードの画面で「次へ」をクリックします。



3. ボリューム サイズの選択

ボリュームのサイズを MB 単位で選択して、「次へ」をクリックします。

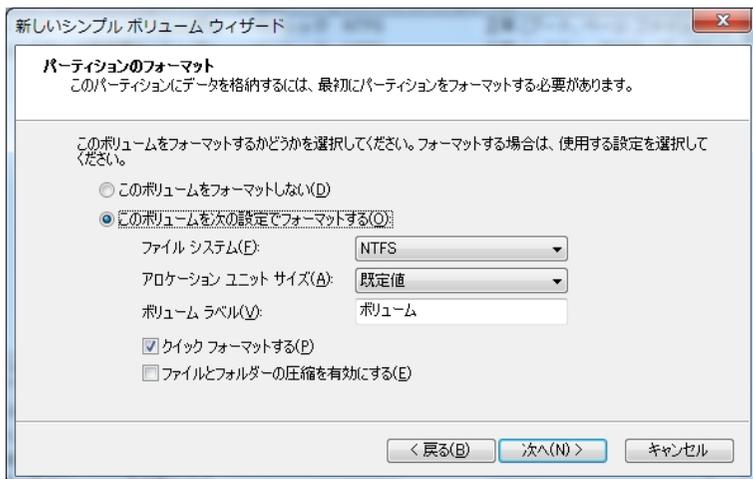
4. ドライブ文字またはパスの割り当て

ドライブ文字またはパスの割り当てで「次へ」をクリックします。

パーティションのフォーマットとマウント

1. パーティションのフォーマット

ファイルシステム等の項目を選択して「次へ」をクリックします。



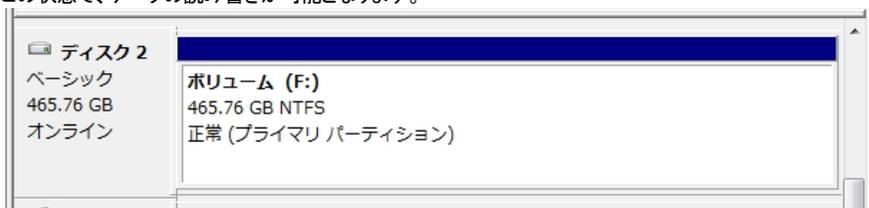
2. 作業完了

「新しいシンプル ボリューム ウィザードの完了」で、設定した内容を確認して「完了」をクリックします。

新しいボリュームの確認

作成したボリュームのフォーマットが完了すると、状態が「正常」と表示されます。

この状態で、データの読み書きが可能となります。



ディスクの取り外し

本製品を取り外す前に、タスクバー右端にある通知領域の、「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックし、表示される一覧から本製品の名前 (FireWire 接続時: 「inXtron_Inc.SK3501_Super-S3」、USB 接続時: 「SK3501 Super-3」、sSATA 接続時: 「NewerTech GMXA GMA」) を選択します。確認のダイアログボックスが表示されたら、OK を押してダイアログを閉じてください。これで安全に取り外せるようになります。

4-2 Mac OS X 10.9 および 10.10

パーティションの設定

パーティションの設定は、Mac OS X に標準添付の「ディスクユーティリティ」で行います。

1. ディスクユーティリティの起動

パソコンに本製品を接続した後、Mac OS X では、Finder から「アプリケーション」→「ユーティリティ」の順に選択して、「ディスクユーティリティ」を起動します。

2. ディスクの選択

「ディスクユーティリティ」ウィンドウの左側にディスクの一覧が表示されます。本製品に搭載されたディスクを確認し、該当するアイコンをクリックします。



3. パーティションの作成

「ディスクユーティリティ」ウィンドウ右側の「パーティション」タブを選択します。

「ボリュームの方式」で、パーティションの数を選択します。現在の設定から変更するには、「現在の設定」メニューバーを押して、パーティションの数を変更します。

「オプション」ボタンをクリックすると、パーティション方式の選択ウィンドウが開くので、必要があれば以下のいずれかより選択して変更します。

GUID パーティションテーブル： Mac OS X バージョン 10.4 以降で標準のパーティション方式

Apple パーティションマップ： 主に PowerPC 搭載 Mac 用のシステムで使われる方式
マスター・ブート・レコード： Windows と互換性のあるパーティション方式

★「GUID パーティションテーブル」および「Apple パーティションマップ」は、Windows XP 以前のバージョンの Windows とは互換性のない方式となりますのでご注意ください。

4. パーティションのサイズとファイルシステムの選択

それぞれのパーティションを選択し、右上部の「ボリューム情報」で、「名前」「フォーマット」「サイズ」を決定します。



★Mac OS 用フォーマットを選択した場合、Windows など Mac OS 以外の環境では使用できませんのでご注意ください。

ディスクのフォーマットとマウント

全てのパーティションについて、「ボリューム情報」を設定し終えたら、右下の「適用」ボタンを押します。一度確認の画面がでできます。そこで更に「パーティション」のボタンを押しますとディスクのフォーマットを開始します。フォーマットが完了するとディスクをマウントします。

ディスクの取り外し

デスクトップ上の本製品に該当するハードディスクアイコンをゴミ箱に入れると、マウントが解除されます。その後、本製品を Mac から取り外してください。

4-3 Mac OS X 10.11

ディスクのフォーマットとマウント

ディスクのフォーマットは、Mac OS X に標準添付の「ディスクユーティリティ」で行います。

1. ディスクユーティリティの起動

新しいディスクを Mac へ接続すると、以下のようなメッセージが表示されます。

「初期化…」ボタンをクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。



初期化済のディスクを再度フォーマットする場合は、Finder から「アプリケーション」→「ユーティリティ」の順に選択して、「ディスクユーティリティ」を起動します。

2. ディスクの選択

「ディスクユーティリティ」ウィンドウの左側にディスクの一覧が示されます。

本製品のアイコン (FireWire 接続時:「NewerTec h GMAX Media」、USB 接続時:「OEM Ext Hard Disk Media」) を確認してクリックします。



3. ディスクの消去

「ディスクユーティリティ」ウィンドウ上段の「消去ボタン」をクリックします。
フォーマットと方式(パーティション方式)を選択します。



パーティション方式は以下のいずれかより選択可能です。

- GUID パーティションテーブル: Mac OS X バージョン 10.4 以降で標準のパーティション方式
- Apple パーティションマップ: 主に PowerPC 搭載 Mac 用のシステムで使われる方式
- マスター・ブート・レコード: Windows と互換性のあるパーティション方式

★ディスクを複数のパーティションに分割して使う場合は、「GUID パーティションテーブル」または「Apple パーティションマップ」を選択する必要があります。
パーティションを分割する手順は本書 18 ページを参照してください。

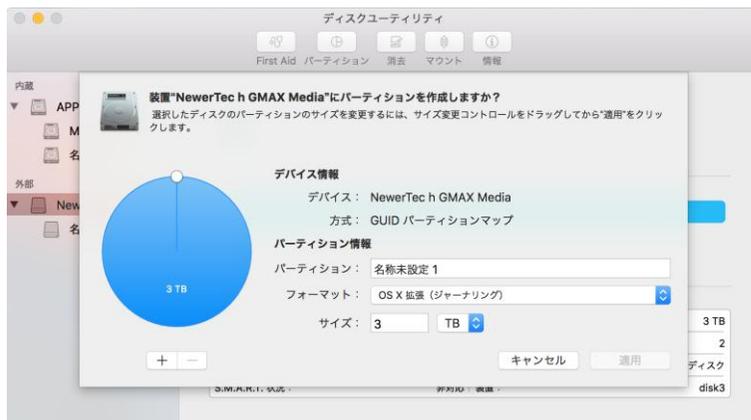
★「GUID パーティションテーブル」および「Apple パーティションマップ」は、Windows XP 以前のバージョンの Windows とは互換性のない方式となりますのでご注意ください。

★Mac OS 用フォーマットを選択した場合、Windows など Mac OS 以外の環境では使用できませんのでご注意ください。

全ての設定を入力および選択してから、「消去」ボタンをクリックします。
「消去」ボタンをクリックするとディスクのフォーマットを開始し、フォーマット完了後、ディスクがデスクトップ上にマウントされます。

パーティションの分割

「ディスクユーティリティ」ウィンドウ左側のディスクの一覧から本製品のアイコンを選択した状態で、ウィンドウ上段の「消去ボタン」をクリックします。



左側の円グラフ下に表示された「+」および「-」ボタンで、パーティションの数を増減できます。各パーティションのサイズを変更する場合は、右側の「サイズ」欄に数値を入力します。全てのパーティションについて設定し終えたら、右下の「適用」ボタンを押します。「適用」ボタンをクリックするとディスクのフォーマットを開始し、フォーマット完了後、ディスクがデスクトップ上にマウントされます。

★Mac OS 用フォーマットを選択した場合、Windows など Mac OS 以外の環境では使用できませんのでご注意ください。

ディスクの取り外し

デスクトップ上の本製品に該当するハードディスクアイコンをゴミ箱に入れると、マウントが解除されます。その後、本製品を Mac から取り外してください。

5 技術仕様

インターフェイス	FireWire 800 2ポート USB 3.0(Type B) 1ポート eSATA 1ポート
データ転送レート(理論値)	FireWire 800: 800Mbps USB 3.0: 5Gbps eSATA: 3Gbps
電源	入力: AC 100~240V 出力: DC +12V/2A
外形寸法	222 × 114 × 39 mm

6 保証とアフターサービス

6-1 保証について

本製品の保証期間はご購入日から1年間です。
万一、この期間内に製品に不具合が発見された場合、下記サポートセンターへ連絡下さい。
ご連絡の際には、製品保証書をご用意下さい。

★弊社より出荷した製品以外の修理・サポートは承っておりません。

6-2 テクニカルサポート連絡先

アミュレット株式会社 店頭営業部
TEL. 03-5295-8418
FAX. 03-5295-8424
電子メール support@amulet.co.jp

★本製品に関する情報は、下記ホームページに掲載しております。

<http://www.amulet.co.jp/products/RebDrive/>

7 付録

7-1 よくある質問

Q. ディスクのフォーマットについて、NTFS や FAT などの違いによって、容量の制限はありますか？

A. はい、各 OS/ファイルシステムごとの容量制限については、以下の表を参考にしてください。

OS/ファイルシステム	NTFS	FAT32	FAT16
Windows 7/Windows 8	2TB(*)	32GB	2GB
Mac OS X	-	2TB	2GB

(*)HDD のパーティションテーブルが MBR(マスター・ブート・レコード)形式である場合。

Q. ハードディスク/SSD の総容量より、実際に利用できる容量が小さいのはなぜですか？

A. 一般的に、容量の計算方法には下記の2通りあります。

2 進法: 1 キロバイト=1024 バイト

10 進法: 1 キロバイト=1000 バイト

通常、ハードディスク/SSD 仕様の表記に使われるのは 10 進法での容量で、OS 上で表示されるのは 2 進法です。

このため、上記の差分だけ、実際に使用できる容量の表示が少なくなります。